

銀行とクレジットカードに関する調査

【総評】

中国銀行の口座を持っている人が89.7%で最も高い回答率で、次が郵便局の75.7%。
 メインバンクの理由は、「給与の振込先」が1位。以下、「支店が多い」、「家の近所」と続く。
 中国銀行のイメージは安定・信頼。トマト銀行は親しみやすさ。
 クレジットカードの平均所有枚数は2.9枚で、年代が高くなるほど枚数も増えている。
 クレジットカードはJCBとイオンクレジットが45%前後で他より高い。
 店頭で勧誘されてカードを作り、年会費の無料が魅力。使う時は、手持ちの現金が少ない、ポイントを貯めたい、支払いが高額なときがベスト3。

調査目的 銀行やカードの利用状況を把握する。

調査方法 インターネット調査

調査期間 2006年2月10日～2月16日

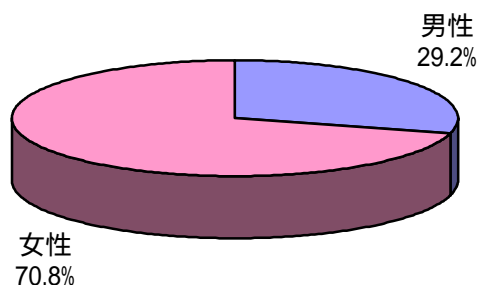
調査対象者 岡山県在住のメール会員

サンプル数 有効回答:185件

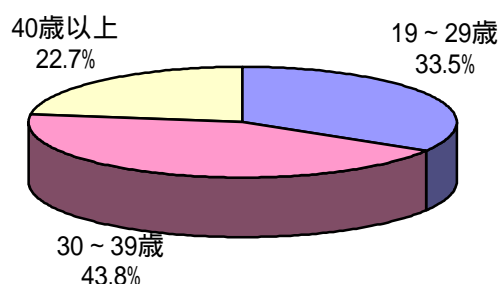
調査機関 岡山情報文化研究所

回答者のプロフィール

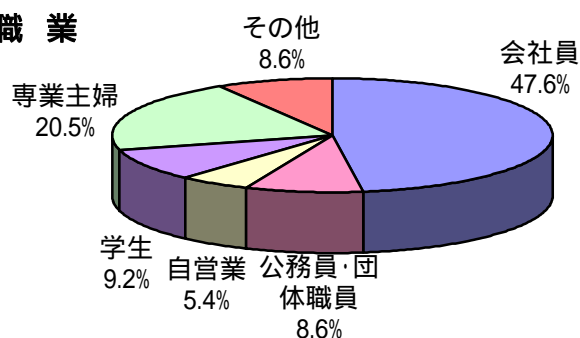
性別



年齢



職業



銀行の利用状況

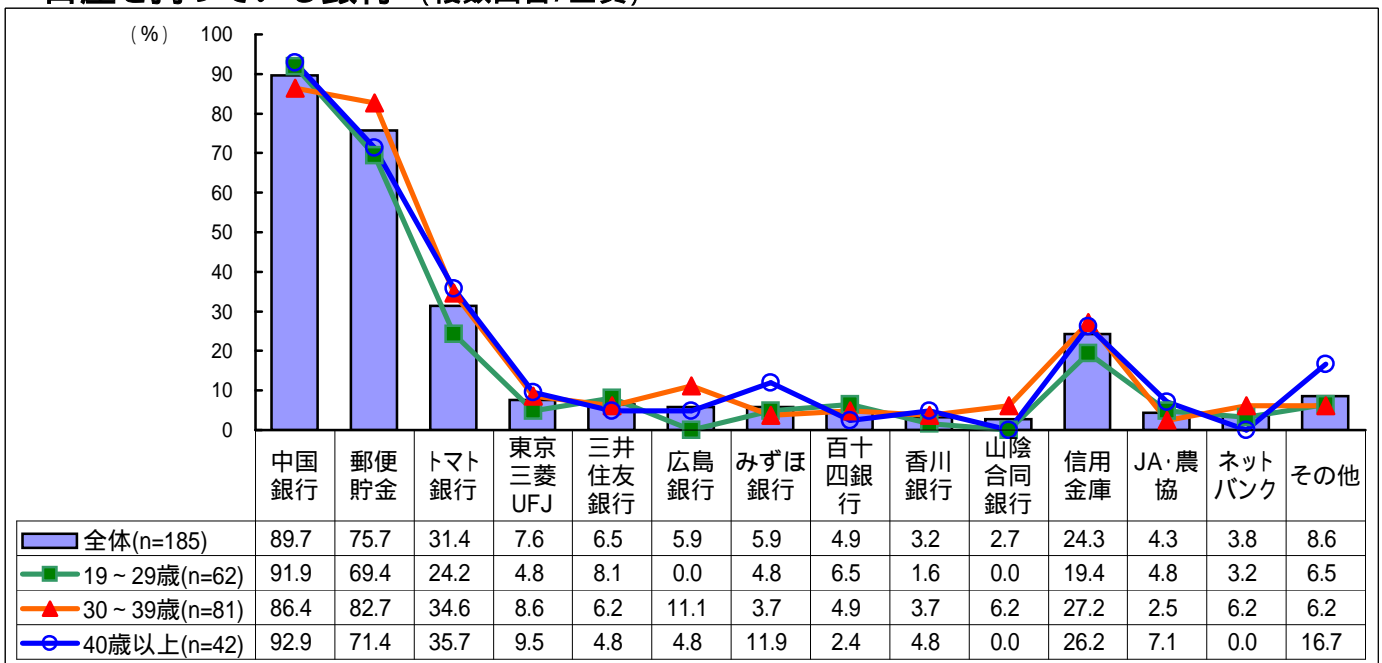
中国銀行の口座を持っている人は89.7%。メインバンクは給与の振込先

口座を持っている銀行では、「中国銀行」(89.7%)が特に高く、2番目は銀行ではないが「郵便貯金」(75.7%)。次が「トマト銀行」(31.4%)。「信用組合」(24.3%)は各信用組合の合計であるが4番目。また、値は低い「ネットバンク」(3.8%)との回答も見られた。年齢別では、19～29歳は特に高い項目はないが、「トマト銀行」(24.2%)、「信用組合」(19.4%)が若干低い。30～39歳は「郵便貯金」(82.7%)が他年代よりも高い。

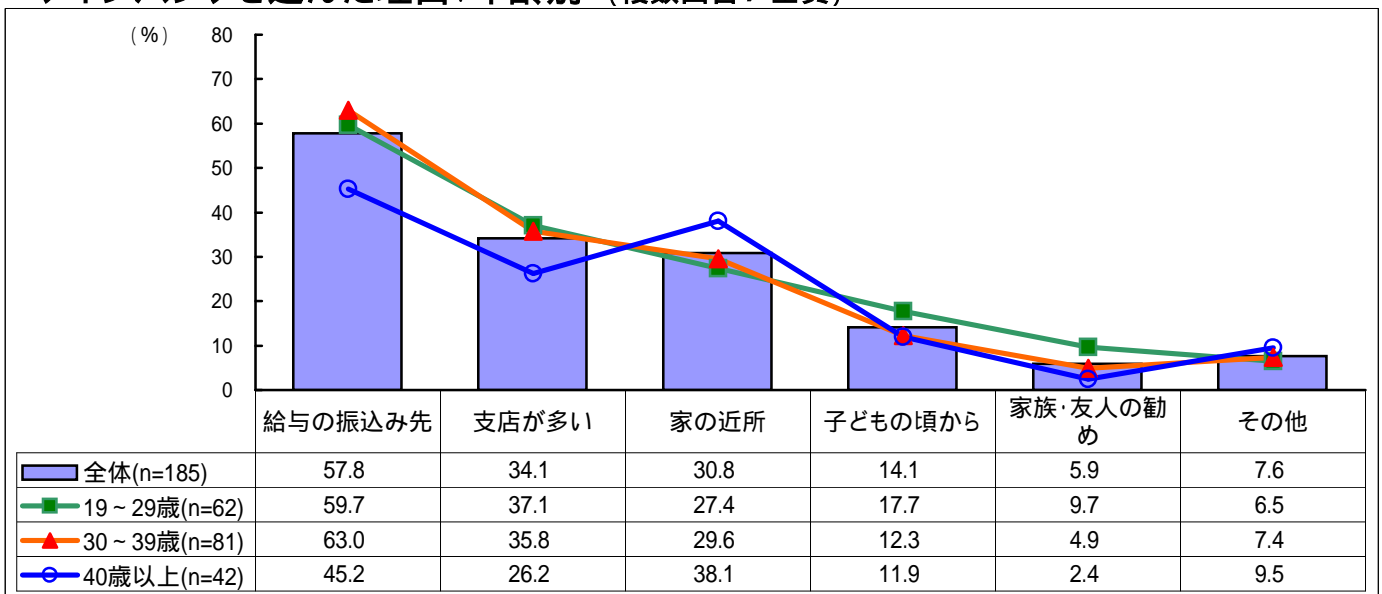
メインバンクを選んだ理由は、全体では、「給与の振込先」(57.8%)が最も高く、「支店が多い」(34.1%)、「家の近所」(30.8%)と続く。

年齢別では、19～29歳は学生も含まれているためか、「子どもの頃から」(14.1%)、「家族・友人の勧め」(9.7%)が他年齢より若干高い。40歳以上は「家の近所」(38.1%)が高く、「給与の振込先」(45.2%)、「支店が多い」(26.2%)が他年代よりも低い。転勤や転職、住宅ローンなども含め、様々な経験が多い年代でもあり、「家の近所」をメインバンクにしているのではないだろうか。

口座を持っている銀行 (複数回答/全員)



メインバンクを選んだ理由: 年齢別 (複数回答/全員)



銀行のイメージ

中国銀行のイメージは安定・信頼、トマト銀行は親しみやすさ。

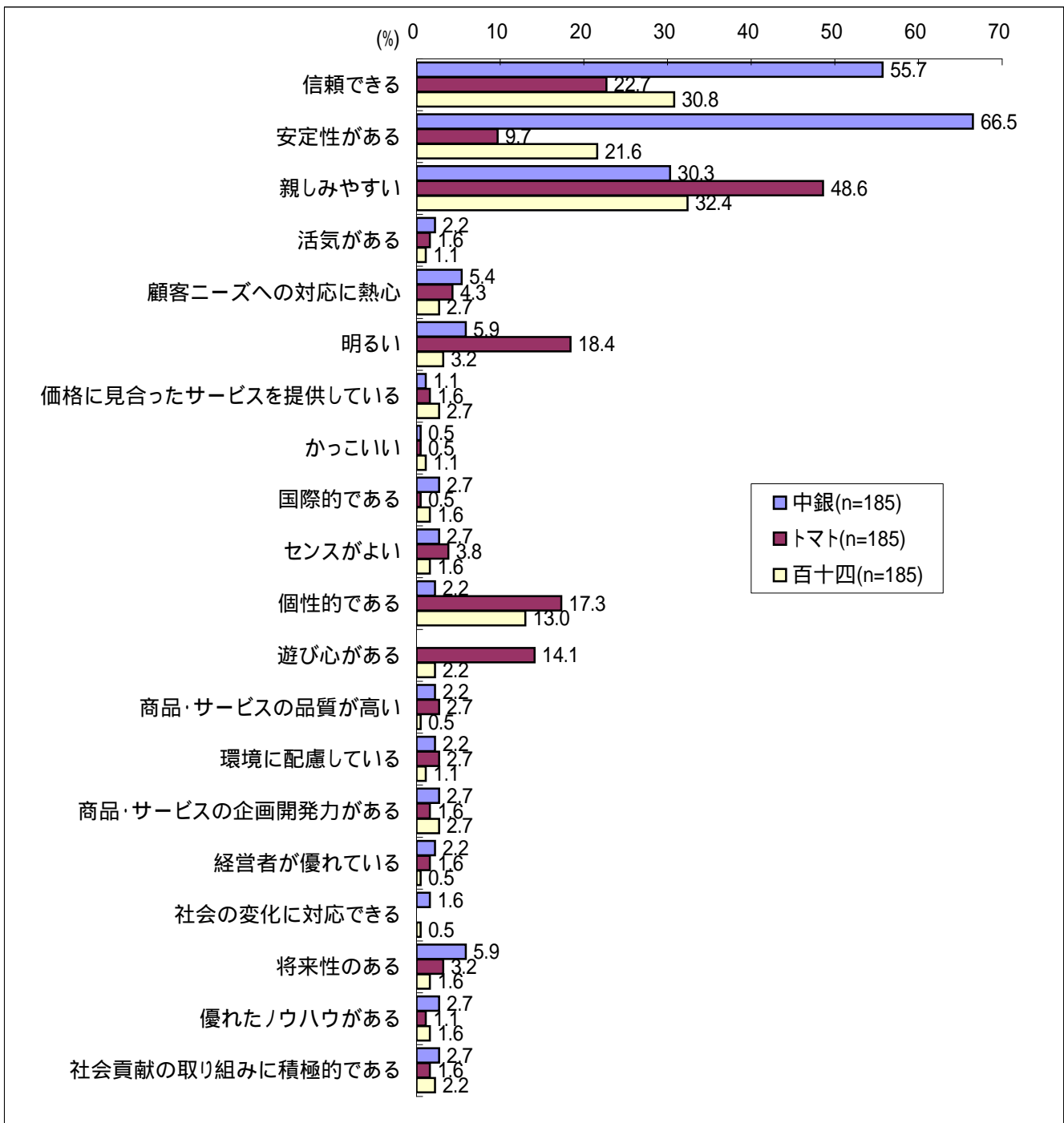
3つの銀行のイメージをそれぞれ聞いた。

中国銀行は、「安定性がある」(66.5%)、「信頼できる」(55.7%)が50%を超えており、他銀行と比較しても信頼感の強さが伺える。3番目に高いのは「親しみやすい」(30.3%)。

トマト銀行は「親しみやすい」(48.6%)が1位だが、50%未満である。以下、「信頼できる」(22.7%)、「明るい」(18.4%)。また、ネーミングのイメージか、「個性的である」(17.3%)、「遊び心がある」(14.1%)も他銀行より高い。ただし、「安定性がある」(9.7%)が低く、やや不安感も持たれているようだ。

百十四銀行は、「親しみやすい」(32.4%)、「信頼できる」(30.8%)、「安定性がある」(21.6%)がベスト3だが、その値はあまり高くなく、口座所有者も4.9%しかおらず、岡山の銀行ではないこともあり印象が薄いと考えられる。

3銀行のイメージ (複数回答/全員)

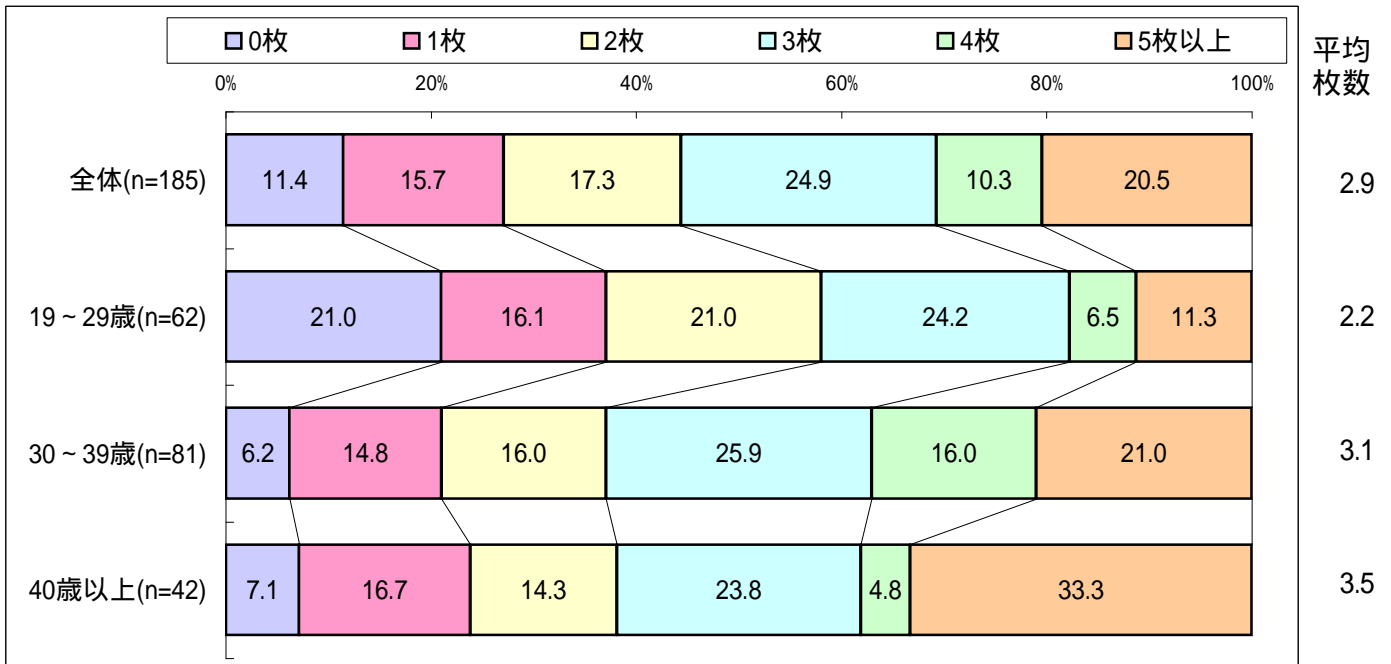


クレジットカード所有枚数

3枚前後が多く、年代が高くなるほど所有枚数は増える。

クレジットカードの所有枚数の平均は、全体で2.9枚。「3枚」が最も高く24.9%。2～3枚の所有者は42.2%を占める。19～29歳の所有枚数は他年代より少なく、平均は2.2枚。最も回答率が高いのは「3枚」(24.2%)で、他年代と大きく変わらないが、「0枚」(21.0)%が高く、「5枚以上」(11.3%)が低い。30～39歳の平均枚数は3.1枚。最も回答率が高いのは「3枚」(25.9%)。40歳以上は「5枚以上」(33.3%)が最も高く、平均は3.5枚所有しており、年代が高くなるほどカードを作る機会も増えるためか、所有枚数も多くなっている。

所有クレジットカード枚数 (数量回答/全員)



クレジットカードの種類

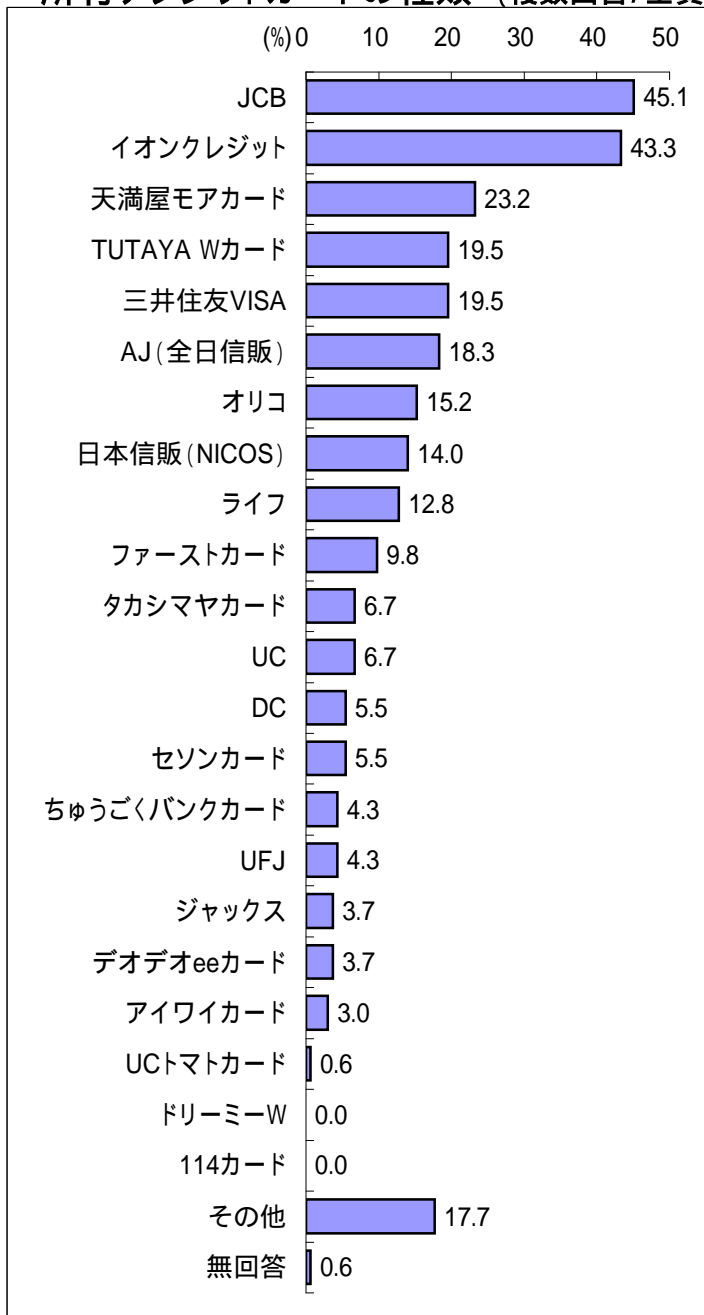
JCBとイオンクレジット所有率が半数弱。

所有しているクレジットカードは、「JCB」(45.1%)、「イオンクレジット」(43.3%)が40%を超えている。5位以内では、「イオンクレジット」の他に、「天満屋モアカード」(23.2%)、「TUTAYAWカード」(19.5%)などの流通系カードがランクインしている。

性別では、男性は「JCB」(58.0%)、「三井住友VISA」(24.0%)、「AJ」(26.0%)、「ライフ」(24.0%)などの銀行系カードが高く、女性は「イオンクレジット」(46.5%)、「天満屋モアカード」(28.1%)、「TUTAYAWカード」(21.9%)、「ファーストカード」(12.3%)など流通系カードが高い。

年齢別では、19～29歳は、「TUTAYAWカード」(24.5%)、「オリコ」(20.4%)、「ファーストカード」(14.3%)が他年代より高く、若い世代がよく行く流通系カードが目立った。30～39歳は「イオンクレジット」(55.3%)、「NICOS」(21.1%)の値が高い。40歳以上は「JCB」(64.1%)が特に高い。「天満屋モアカード」(28.2%)、「VISA」(28.2%)、「ライフ」(20.5%)など所有枚数が多いため、他年代よりも高い値のカードが多い。

所有クレジットカードの種類 (複数回答/全員)



カード名	男性	女性	19～29歳	30～39歳	40歳以上
JCB	58.0	39.5	36.7	40.8	64.1
イオン	36.0	46.5	28.6	55.3	38.5
天満屋モア	12.0	28.1	20.4	22.4	28.2
TUTAYA	14.0	21.9	24.5	19.7	12.8
VISA	24.0	17.5	20.4	14.5	28.2
AJ	26.0	14.9	16.3	19.7	17.9
オリコ	16.0	14.9	20.4	11.8	15.4
NICOS	10.0	15.8	4.1	21.1	12.8
ライフ	24.0	7.9	12.2	9.2	20.5
ファースト	4.0	12.3	14.3	7.9	7.7
タカシマヤ	2.0	8.8	4.1	5.3	12.8
UC	10.0	5.3	2.0	5.3	15.4
DC	10.0	3.5	4.1	3.9	10.3
セゾン	8.0	4.4	4.1	6.6	5.1
ちゅうごくバンク	6.0	3.5	-	2.6	12.8
UFJ	8.0	2.6	4.1	5.3	2.6
ジャックス	6.0	2.6	-	5.3	5.1
デオデオ	4.0	3.5	4.1	5.3	-
アイワイ	2.0	3.5	-	3.9	5.1
UCトマト	-	0.9	2.0	-	-
その他	8.0	21.9	26.5	13.2	15.4
無回答	-	0.9	-	1.3	-

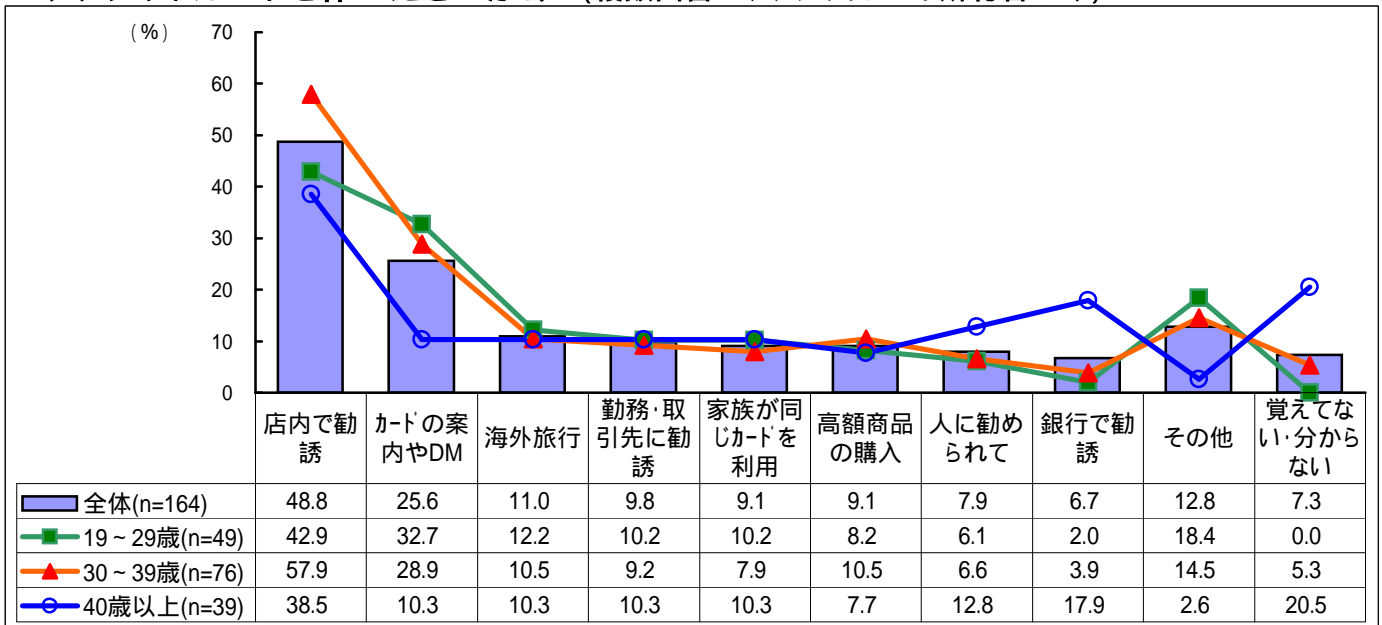
クレジットカード作成状況と利用理由

クレジットカードは店内での勧誘がきっかけ。
 お得感があり、利用頻度の高いカードを使いたい。

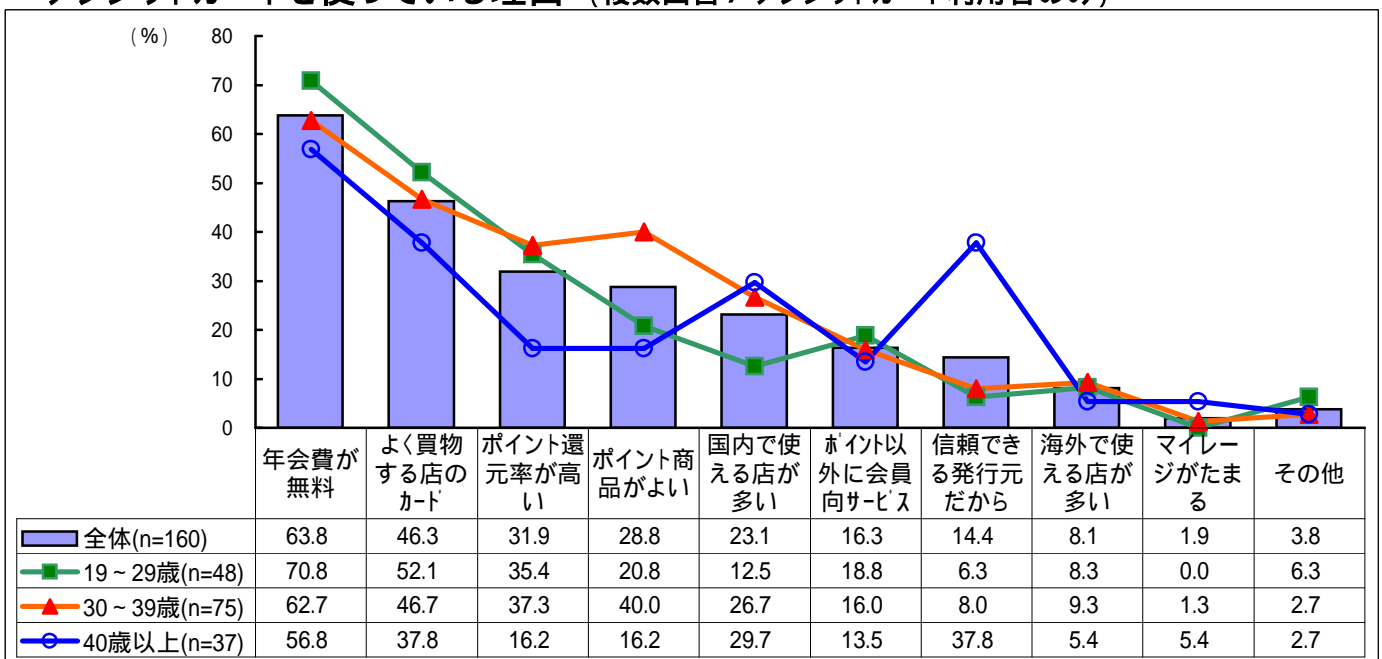
流通系カードが上位に多いためか、「店内で勧誘」(48.8%)が最も高く、「カードの案内やDM」(25.6%)、「海外旅行」(11.0%)と続く。19～29歳では、「カードの案内やDM」(32.7%)が他年代より若干高い。イオンクレジットカードの所有率が高かった30～39歳は、「店内で勧誘」(57.9%)が各年代中でも、最も高い値を示した。40歳以上は、銀行系カードの所有率が高く、「銀行で勧誘」(17.9%)が2番目の理由。「人に勧められて」(12.8%)も他年代より高い。

クレジットカードを使っている理由は、「年会費が無料」(63.8%)、「よく買物する店のカード」(46.3%)、「ポイント還元率が高い」(31.9%)がベスト3。19～29歳は「年会費が無料」(70.8%)、「よく買物する店のカード」(52.1%)、「ポイント以外に会員向サービスがある」(18.8%)など、お得感のある利点を求めている。30～39歳は、「ポイント商品がよい」(40.3%)が高いが、他は特に高い項目はない。銀行系カードの所有率が高い40歳以上は、「信頼できる発行元だから」(37.8%)が同率2位であり、他年代と比べても非常に高い。

クレジットカードを作ったきっかけ (複数回答/クレジットカード所有者のみ)



クレジットカードを使っている理由 (複数回答/クレジットカード利用者のみ)



クレジットカード利用状況

手持ちの現金が少ない、ポイントを貯めたい、支払いが高額がベスト3。

クレジットカードを使うのは、「手持ちの現金が少ない」(49.4%)、「ポイントを貯めたいとき」(48.8%)、「支払額が高額」(48.2%)、「カード会員割引のとき」(42.7%)の順で回答率が高い。

年齢別では、カード所有者の低い19～29歳は利用頻度も低いのか、特に高い項目はない。30～39歳は「通信販売・ネットショッピング」(44.9%)が各年代の中で最も高い。40歳以上は、「手持ちの現金が少ない」(56.6%)、「ポイントを貯めたいとき」(53.9%)、「支払額が高額」(52.6%)などが他年代より特に高い。他にも「カード会員割引のとき」(47.4%)、「国内旅行」なども高い。

クレジットカードで支払うのはどんなとき (複数回答/クレジットカード利用者のみ)

